



日本共産党

北地区政策委員長

のの山けん 区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.12 2007.1.19

発行 のの山けん 発行
〒115-0042 志茂 4-6-15

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に

これではまるで 奴隷労働だ！ **残業代奪い、ただ働きを強要**

ホワイトカラー・エグゼンプション

ホワイトカラー・エグゼンプション!?——耳慣れない言葉です。実は、政府や日本経団連が導入をたくらむ法案で、8時間労働制の原則を根本から崩し、労働者から残業代をとり上げるとともに、長時間労働の野放しを合法化する制度のことです。「残業代ゼロ制度」「過労死促進法」ともいわれるこの法案、これではまるで「奴隷労働」ではないでしょうか。

「ホワイトカラー・エグゼンプション」とは「管理職一歩手前」の労働者について、1日8時間・週40時間の規制をはずすというもの。対象者となる年収基準については政省令で定めるとしていますが、日本経団連は「年収400万円以上」への導入を主張しています。

労働運動総合研究所（代表理事・牧野富夫日大教授）がおこなったモデル試算では、仮に8時間残業をした場合、年収400万円の労働者は、年間140万円の残業代が奪われ、総収入は26%もダウンします。

日本共産党は、近代社会の大原則である8時間労働制をくずすような労働法制大改悪に断固反対です。ホワイトカラー・エグゼンプション導入をやめさせ「人間らしい働き方」の実現のために、全力をあげるものです。

安倍首相

通常国会には提出しないというが…

安倍首相は16日、「ホワイトカラー・エグゼンプション制度」を導入する労働基準法改正案について「今の段階では難しい。（国民の）理解を得られていない」と通常国会への提出断念を表明しました。しかし、一時的に批判をかまし参院選後に提出するねらいもあります。

日本共産党はこのたくらみを完全に断念させるまでがんばる決意です。

こんなに奪われる残業代!!

年収 400 万円	…140 万円
700 万円	…246 万円
900 万円	…317 万円

※労働運動総合研究所の試算。月80時間残業をした場合。



2007年、今年もよろしくお願ひいたします。

2 大選挙の年、日本共産党の躍進を

のの山地区政策委員長が街頭から新年のあいさつ



そね都議（右）、やぐち区議（中央）とともに赤羽駅東口で訴える、のの山地区政策委員長

日本共産党に対する大きな期待を感じさせる宣伝行動となりました。

今年は春のいっせい地方選挙、夏の参院選と政治を変えるチャンス、日本共産党の躍進をなんとかしてもちとる決意です。

2日、そねはじめ都議、やぐち健区議とともに宣伝カーで、赤羽、岩淵、志茂の地域をまわり、新年にあたっての豊富と決意を訴えさせていただきました。

午前中には赤羽駅東口マクドナルド前、赤羽東三角公園前で、午後は東本通り青山前、赤羽南公団前で定点の街頭演説。私は「区民に増税、負担をおしつけながら、北区

は300億円もの税金をためこんでいます。この積立金のほんの一部をとりくずすだけで、お年より、子育て世代、障害者、若者の生活を応援する施策が実現できます」と、お話ししました。

中には子連れのお夫婦がじつと演説に聞き入り「福祉のことでは本当にがんばってください」と声をかけてきたり、沿道から飛び上がって手を振ってくれたり、

妊婦健診助成、1万円から5万円に

若年カップルに朗報！

北区が議会に説明 日本共産党の提案実る

北区は12月14日、北区議会に2007-09年度の北区中期計画（案）の説明を行い、そのなかで「妊婦健康審査」の大幅拡充策を示しました。

現在の妊婦健診は、妊娠前期と後期に計2回、23区共通で無料健康審査券が配布されていますが、北区は独自に1万円の補助をおこなっています。提案の内容は、この区独自補助を1万円から5万円に拡充するものです。

北区は「1回の健診費用の平均を5千円と考えると、10回に分けたら、妊婦健診は14-15回受診すると考えて、23区共通券2回分ともあわせ、大部分の妊婦健診費用をまかなうことができるのでは

ないか」と説明しました。

私は昨年末、日本共産党北区議員団とともに、子育てにかかる経済的負担の軽減のひとつとして、「妊娠、出産費用の無料化」を来年度予算編成にあたっての要望として、花川区長に申し入れてきました。

今後とも、北区にある約300億円の積立金を活用して、妊娠・出産費用の完全無料化など、子育てを応援する政策実現のためにがんばります。

